

年 組 名前：

問1

企業版ふるさと納税とは、どのような制度ですか。

.....

.....

.....

問2

甲府市の企業版ふるさと納税額が、20年度はゼロでしたが、21年度は1600万円になりました。どのような方法で、増額させることができましたか。

.....

.....

問3

甲府市の企業版ふるさと納税対象事業の分野を、3つ答えなさい。

-
-
-

問4

あなたは、問3の答え以外に、寄付金をどのような事業に利用されたら良いと思いますか。

.....

.....

21年度の企業版ふるさと納税 8事業者から1600万円

甲府市は「企業版ふるさと納税」制度を活用した企業などからの寄付実績をまとめ、2021年度は8事業者から計1600万円が寄せられた。導入初年度の20年度はゼロだったが、寄付対象事業をまとめたパンフレットの制作や事業所訪問などを通じて、市ふるさと納税課によると、市に対して21年度に企業版ふるさと納税を行った8事業者の内訳は県内3社、県外5社だった。寄付額は10万円からで、最高額は信金中央金庫（東京都中央区）の1千万円だった。市は20年7月から受け付けを始めたが、20年度はゼロだった。

制度の利用が増えた理由について、同課は政府による税額控除割合引き上げなどのほか、市独自の事業者向けパンフレット制作を挙げる。企業版ふるさと納税対象の事業について、①子ども応援②産業・まちづくり③歴史・文化④など5分野を設定。各分野の中に、市子ども屋内運動遊び場「おしろらんど」の充実、甲府城周辺地域の整備など具体的な事業を記した。

市にゆかりのある市外の事業者を調べて接触し、パンフレットを使って説明したところ、制度の利用増加につながった。同課の担当者は「甲府市をよりよくするための事業者の提案も事業に反映できるようにし、利用をさらに伸ばしたい」と話している。

企業版ふるさと納税は1回当たりの10万円以上の寄付が対象。20年度までは法人関係税からの税額控除が最大で寄付額の6割だったが、21年度は最大9割を軽減する。

(2022年5月21日付 山梨日日新聞 23面)